



令和4年8月1日  
さくら保育園

猛暑が続いています。子どもは、外気温の影響を受けやすく、暑い夏には体の中の温度が早く上昇します。そのため、大人よりも早く熱中症にかかりやすいです。暑さ対策をしっかりと、夏を元気に乗り切りましょう。

7月31日付の読売新聞によると、茨城県内の新型コロナウイルス感染症の1日あたりの感染者数が3000人を超えるのは、2日連続。累計は20万4731人となったと報じています。町内においても、かつてない程に感染が拡大しています。

園では、手洗い・うがい、換気、消毒などの基本的な感染症対策を引き続き継続していきます。ご家庭でも、体調管理に十分気をつけていきましょう。

### <7月の病気・感染症の様子>

新型コロナウイルス感染症	11名 (職員3名含む)
咽頭結膜熱 (アデノウイルス、プール熱)	1名
ヘルパンギーナ	1名
手足口病	1名
突発性発疹	1名
胃腸炎	1名
嘔吐症状	2名
発熱症状	23名
風邪症状	4名

### 熱中症対策として



水遊びや園庭での戸外遊びの前に、環境省の熱中症予防情報サイトより「暑さ指数」を確認し、園庭に出ている時間などの参考にしています。また、こまめに水分補給ができるように、気をつけています。

**暑さ指数**：熱中症を予防することを目的として提案された指標  
\*湿度、日射・輻射(ふくしゃ)など周辺の熱環境、気温を取り入れた指標です。



### ご協力ありがとうございます

7月は、主に0歳～2歳児クラスで、急な発熱のため、保護者の方へご連絡することが多くありました。

年齢の低いお子さんは特に、朝は元気でも体調が急に悪くなることも度々あります。

園でも、引き続き健康状態には十分気をつけていきます。

### 虫に刺されたら…

夏はハチや毛虫に刺されるトラブルが増えます。刺されたら、炎症がひどくならないよう、すぐに対応することが大切です。



### どんな虫に刺された？

➡ ハチの場合は、追い払ったりせず、静かにその場を離れます。毛虫の時は、触らないように注意しましょう。

#### 毛虫

- ① 針や毛が皮膚や衣類に残っていると、かぶれが広がるので、粘着テープなどで取り除きます。
- ② 流水で洗って冷やし、虫刺されの薬を塗ります。
- ③ 直接触らなくても毛が皮膚に触れるだけで強い皮膚炎を起こすこともあるので、注意が必要です。



#### ハチ

- ① 針が残っていたら、毛抜きやピンセットで抜き取ります。
- ② 刺された部分をつまんで毒を押し出し、流水で洗い流し、虫刺されの薬を塗ります。
- ③ 腫れが強い場合は、受診しましょう。以前にも同じ虫に刺されたことがあり、気分が悪い、息苦しいなどの症状がある場合には、アナフィラキシーショックの可能性があるため、早急に受診しましょう。

